

しあわせ

No. 148

平成22(2010)年
1月28日



福知山市社協

発行/社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会
福知山市字内記10-18(福知山市総合福祉会館内)
TEL.23-3573 FAX.24-5282



明日をになう、元気な姿

〜平成世代のボランティア活動④〜

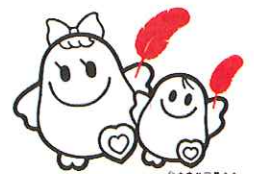
11/3の学習発表会で、目録を渡す福祉委員の生徒(写真提供:夜久野中学校)

「22台目の車イス、施設にプレゼント」

夜久野中学校 ～アルミ缶を集めて15年～

夜久野中学校は、毎週水曜日にアルミ缶の回収を行い、リサイクル業者に買い取ってもらったお金で、地域の福祉施設(グリーンビラ夜久野)に車イスなどをプレゼントしています。活動を始めて15年。今回は手すり車イスをプレゼントしました。「夜久野ふれあい号」と名付けている車イスは、今回で22台目となりました。

愛ちゃん と 希望くん



本誌は、共同募金の配分金によって作られています

社協ホームページ

福知山市社会福祉協議会

検索



見てください!!

新年ごあいさつ

社会福祉法人

福知山市社会福祉協議会

会長 浅尾 勝次



新年明けましておめでとうございませす。

皆様には、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、アメリカ発の経済危機の影響から、大変な一年となりました。「大変」とは大きく変わると書くように、大きく変わる時、又大きく変わらねばならない年でもあったと思ひます。

しかし私達は大変なときこそ大切なことに気付くときでもあります。例えば、順調にいったことが、何かの原因で上手くいかなくなる場合があります。病気や事故に遭遇することもあります。失敗や病気や事故は無いに越したことはありませんが、これらのことに遭遇したとき、今までの生き方を反省し、自分の人生を見つめ直す機会とすることもできます。実際こうした試練を乗り越えて、大きく飛躍し成功した人もいます。苦しいとき、辛いとき、どうかすると諦めてしまふ場合があります。諦めたとき全てはそこで停止してしま

います。諦めには進歩がありません。そこで今一度現実を見つめ直し、発想の転換をしてみることが大切です。

「辛い」という字に「一」を加えると、「幸せ」という字になります。福祉の現場では制度や施設の利用によって道が開けることもあります。誰かの援助を受けることによって辛さが軽減されることもあります。一人で悩まず、助け合うことこそ、大切ではないでしょうか。「あきらめ」を発想の転換により「あ・きらめき」となるように努めて参りたいと思ひしております。

改革改善に取り組んで三年が経過しました。社協の健全な発展を期する今年には、旧来の事業を見直し、更に多くの市民を巻き込んだ活動の展開、健全な経営を目標に取り組んでまいりたいと思ひしております。3K「改革改善・協働共助・健全経営」を目指します。今年こそ平穏な年となることを願ひ、市民福祉の向上と、皆様方ご家族お揃いでのご健勝とご多幸を祈念してご挨拶とさせていただきます。

69名(個人・団体)に表彰状・感謝状を贈呈

第53回福知山市社会福祉大会



11月25日、福知山市厚生会館で、第53回福知山市社会福祉大会を開催しました。大会では、長年にわたって福祉にご尽力された方々への表彰状と、多額のご寄付をいただいた方に感謝状をお贈りしました。

また、福祉の現場で活躍されている先生の講演も行い、約600名の参加者は、あらためて社会福祉について振り返るとともに、今後について考える一日となりました。

社会福祉事業功労者表彰(順不同・敬称略)

民生児童委員 坂根みつ代	保育事業功 労者(職員)	今福美和子 稲継環	俣野二郎 (匿名1名)	岡村美恵 多額寄付者 感謝状	芦田 收 細見義明
老人福祉事業 功 労 者	中井宏美 田中貴美子	山本 実 蘆田恵子	社会福祉協 議会(役員)	福知山れんげ会 会長坪内勉	藤田道代 栗林拓爾
池澤清喜	木村由佳理	榎原たみ枝	桐村博之	早川知男	新井栄一
石川美枝子	塩見真由美	衣川千恵	ボランティア 功 労 者	大西靖彦	大槻政己
塩見一重	柿原恭子	田崎明彦	京都短期大学 食育ボランティア	セゾンの建設株式会社 芦田雅哉	木 寄 嘉 和 大槻 修
杉之下久男 田 邊 寛	社会福祉施設 功 労 者(職員)	大符千晶 瀧本嘉威	自立更生者	友次秀正	大槻 雅 子
西山輝太郎	日出木康年 的場真由美	西 恵 美 氷上賢一	塩見昭夫	藤 林 稔	(匿名3名)

社会福祉大会記念講演

講師

東京大学先端科学技術研究センター
バリアフリー分野
教授 福島 智さん



幼少期を福知山市で過ごされた福島さん(左から2人目)

講演の概要

「全盲ろうとなったことにも意味があるのかも しない。」

そう思い、盲ろう者として日本で初めて大学に進学されるまでのいきさつを、「指文字」を考案された福知山市出身のお母さんとやりとりをしながら紹介された。

また、障がいを「コンディションが悪いグラウンド」に例え、うまくいかないことを条件の悪さのせいとせず、いかにその状況と関わるかが大事だと述べられた。

また、「苦悩の中の希望を抱くこと、そこに人生の意味がある。」と話されました。

社会福祉大会Q&A

Q どんな大会なの?

A 市民一人ひとりが、地域において生きがいのある生活を送ることができるとなる取り組みのきっかけとなるよう、地域福祉や社会福祉の推進を担う団体や個人が一堂に集い、連携を深めるための会です。

福島先生は、3歳で右目、9歳で左目を失明され、さらに18歳で聴力を失われました。母・令子さんが、言葉を伝えるコミュニケーションの方法として考案された、6本の指を使った「指文字」を活用して、1993年に東京都立大学人文学部に合格。

現在は、大学教員としての仕事のほか、盲ろう者を中心とする障がい者福祉の増進のためにご活躍されています。

社協の活動はこのように進んでいます

平成21年度

ボランティアのつどい

市内各地で開催

・どんな事業？

地域のボランティアグループの皆さんが、お互いの活動を通じて交流し、ボランティア活動を推進することを目的に開催されています。

ボランティアのつどい

10月24日(土) 総合福祉会館にて



内容 ・救命救急活動の初動対応に関する講演
・認知症予防に関する講演とゲーム

みわの会

10月30日(金) 東部保健福祉センターにて



内容 ・6グループによる活動報告
・グループの作品展示
・小物作り(布のネックレス)

ボランティア交流会 ザ・やくの

9月3日(木) ふれあいの里福祉センターにて



内容 ・活動報告
・調理ボランティアさんによる、地域で採れた夏野菜のカレーライス試食
・高齢者疑似体験

大江ボランティアフェスタ

10月5日(月) 舟越会館にて



内容 ・活動報告
・新聞紙でプローチ作り
・きよしのズンドコ節〈健康体操〉
・みんなの歌(合唱)

参加者の声

「知らない人とも仲間づくりができた。」
「志を同じくする者が集まって一緒に勉強することはとても意義があると思います。」
「各サロン活動の報告をしていただき、ボランティアは『してあげるのではなく、させていただく』そんな気持ちが大切だと発表の中で再確認しました。」
「とんち、ゲーム等色々プログラムが組んでありまして、良かったです。」

ボランティア情報誌「ほっとタイム」のご紹介

・ボランティアセンターの登録グループや個人の一覧を掲載しています。
・ボランティア活動の依頼や報告をはじめ、市内のボラ情報を凝縮して紹介しています。
発行は年に3回。社協の窓口をはじめ、市内各施設に置いています。
詳しくは、社協までお問い合わせください。

三和 障がい者の交流会「みわの集い」

10月19日(月) 東部保健福祉センターで開催

・どんな事業？

障がいのある方やボランティア、民生児童委員さんなど地域住民が集い、交流や親睦を深めるための事業で、障がいのある方の社会参加のきっかけづくりを目的に開催しています。

・参加された障がいのある方の声

「川合小学校のみんなが披露してくれた、『キッズソーラン節』の踊りに元気をもらいました。毎年、この集いを楽しみにしています。」



午前中のレクリエーションの1コマ

夜久野 秋を楽しむ会(サロンボランティア交流会)

10月31日(土) ふれあいの里福祉センターで開催

・どんな事業？

サロンでボランティア活動をされている方のために、研修と交流の場を提供するための事業です。

「楽しいひと時を過ごす。」をキーワードに開催しています。



レクリエーションを紹介する社協職員

・参加されたボランティアさんの声

「いろんなサロンの様子を聞かせていただき参考になりました。頑張る励みになりました。よく笑い、楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。元気をもらって帰ります。」

大江 福祉団体スポーツ交流会

10月6日(火) 舟越会館グラウンドで開催

・どんな事業？

障がいのある方、ひとり暮らしの高齢者、ボランティアなど、福祉に関わる各種団体の親睦を深め、地域の福祉力を高めるために開催している事業です。

スポーツを通じて、楽しみながら仲間づくりを進めています。



好プレーが出るたびに、あちこちで歓声があがりました

・参加された方の声

「午前中雨がパラつき、できるか心配でしたが、午後から晴れて楽しくグラウンドゴルフで交流ができて良かったです。」

人権学習の実施（府立工業高校）

11月13日（金）、府立工業高校の人権学習に社協の職員が招かれ、車椅子とアイマスクの体験を実施しました。

毎年、2年生の取り組みの中で体験学習を実施されています。当日は、120名余りの生徒の皆さんがこの体験学習を通して、相手を気遣うことや相手の立場に立って考えることの大切さを学びました。

相手のことを思いやりながら押してあげるのは、思ったより大変ですね。



ふれあい福祉フェスタでボランティアさん活躍

11月15日（日）
厚生会館にて

・ふれあい福祉フェスタとは？

昨年まで行われていた障害者福祉大会・福祉まつりを、今年から「ふれあい福祉フェスタ」に一新した行事。市内の福祉施設・団体等の活動や作品の紹介をするイベントです。



イベントを支えるため、福知山市ボランティアセンターからは、33名のボランティアの皆さんに、やきそばやうどん、コーヒーの模擬店のお手伝いをしていただきました。

（写真は、やきそばコーナーの様子）

点字会の皆さんには、“街角点字”で来場者の皆さんに点字の体験指導をしていただきました。



点字も、読むのは左からですが、打つ（書く）時は、右からなんですよ。



慣れないと、なかなか難しいですね。

共同募金へのご協力、ありがとうございました

【京都府共同募金会福知山地区支会からの報告】

昨年10月1日から12月31日までの期間内に、地域の皆様や自治会長様、民生児童委員様に御協力をいただいて募金をお世話になりました。

また、職場・学校・企業などからもたくさんの募金が寄せられました。寄せられた募金は、本誌で報告しています事業など、地域福祉の財源となります。たくさんの善意をありがとうございました。

12月31日現在の募金額

赤い羽根共同募金 11,574,186円
歳末たすけあい募金 5,006,188円

アンケートご協力のお礼

昨年12月発行の広報誌「しあわせ」147号（お知らせ号）でお願いました社協アンケートには、たくさんの方よりご協力頂き、誠にありがとうございました。

なお、結果は次号（4月発行予定）の「しあわせ」にて報告させていただきます。

ありがとうございました 善意の寄付

平成21年
10月1日～12月31日
(敬称略・受付順)

【寄付金・物品他欄の - につきましては、寄付者のご意思に添って、住所・名前のみの広報と致します】

こちらの内容については、個人情報保護のため、
ホームページへの掲載は自粛させていただいて
おります。

いきいき

第7回目

福知山市夜久野町畑南

サロンの紹介

いきいきサロン あじさいの会

私たちのサロンは、高齢者の閉じこもりをなくし、日常生活を健康で楽しく過ごしてもらうことを目的に、月1回開催しています。

血圧測定に始まる健康管理、歌に合わせて体操、手・指運動、ゲームや物作り、お食事会など、楽しみながら参加していただいています。



なかなか難しい、手をグーやパーの形にして交互に突き出す運動



気軽に参加できる室内スポーツ



介護サービス推進課 訪問介護サービスの介護ヘルパー菅原ムツミさんが、平成21年11月11日、毎日介護賞で毎日新聞舞鶴支局長賞を受賞しました。



受賞された菅原ムツミさん。写真撮影の後、すぐにサービスに出られました。いつもおつかれさまです。

○毎日介護賞とは

(株)毎日新聞社が主催、厚生労働省などが後援されている賞で、介護の現場で、創意工夫と公共性に富み、優れた業績を上げる団体・個人を顕彰する目的で創設されたものです。

○受賞にあたって

今回菅原さんは、約30年にわたる介護ヘルパーの実績や、平成16年の台風23号災害時にも高齢者と

一緒に過ごすなど、利用者に寄り添う介護に努めてこられたことに對しての表彰となりました。

○菅原さんにズームイン!

「利用者さんに少しでも幸せな時間を」

Q ヘルパーとして心がけていることは

毎日ご苦労やつらい思いをされている利用者さんに、私たちがお手伝いさせていただくことで、少しでもリラクセスのできる時間、幸せな時間を過ごしていただけるよう心がけています。

Q 長年にわたって従事できた理由は

様々な利用者さんと関わる中で、互いに苦労しながら歩んでいける喜びや、利用者さんの人生を通して勇気付けられること、勉強になることでの精神的な成長の喜びが今までの原動力です。

また、「好きなこの仕事を体の続く限り頑張っていきたいです。」とこやかに決意を語ってくれました。

このたびは、本当におめでとうございませう。そして、現在は登録ヘルパーとしてお世話になっていますが、これからもよろしくお願ひします。

記事に関すること、その他お問い合わせは…

- ▶本 所 (TEL.23-3573/FAX.24-5282)
- ▶三和支所 (TEL.58-3713/FAX.58-3732)
- ▶夜久野支所 (TEL.38-9000/FAX.38-9012)
- ▶大江支所 (TEL.56-0224/FAX.56-1654)

人事異動のお知らせ

退職(12月31日付)
和泉正人(本所) 介護サービス推進課
菅原ムツミ(本所) 嘱託介護職員
採用(1月1日付)
富田すみ子(本所) 嘱託介護職員
*同臨時職員より採用

表紙写真の紹介



夜久野中学校では、開校した平成5年の翌年からアルミ缶の収集・換金による福祉用具の寄付を継続しています。地元の方も缶をたくさん寄せられ、地域ぐるみの活動となっています。



計量のため、缶の音が鳴り響く水曜日の玄関付近



アルミ缶に耳をつけたマスコット「あるみかん」

募集 介護サービス登録ヘルパーさん、看護師さん

社協では、登録ヘルパーさん・看護師さんを常時募集しています。私たちと一緒に働きませんか？ 資格をお持ちの方、ご応募お待ちしております。

